

農林水産商工常任委員会提出資料

(令和5年2月22日)

項 目	ページ
■ とっとりうの花ウニまつり～ウニを食べて海を守ろう～の開催について 【漁業調整課】……………	2
■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課】……………	3

農 林 水 産 部

とっとりうの花ウニまつり ～ウニを食べて海を守ろう～ の開催について

令和5年2月22日
漁業調整課

このたび、鳥取市内の飲食店有志に協力いただき開発を進めてきたムラサキウニをベースにした食材「うの花ウニ」が完成し、各店舗でこの食材を使用したオリジナルメニューを数量限定で提供する「とっとりうの花ウニまつり」を開催しますので報告します。

1 「うの花ウニ」とは

- ・鳥取県漁協がJA鳥取中央倉吉秋冬野菜部会等から提供いただいたキャベツ等により蓄養した「ムラサキウニ」に、マルサンアイ鳥取株式会社（鳥取市）提供の「おから」と粘りが強い海藻の「アカモク」を混ぜ合わせた食材である。
- ・「とっとりウニ転生大作戦」を合言葉に、現在、食材として低利用な上記3種を組み合わせ、新たに開発を行った。

2 「とっとりうの花ウニまつり」の概要

- (1) 期間 令和5年2月27日（月）から3月5日（日）まで
- (2) 参加店舗 食材開発に協力いただいた「天然海水いけす海陽亭」、「うなぎ・郷恩料理 梅乃井」、「名代 笹すし」、「ムッシュたけぞう」及び趣旨に賛同いただいた鳥取市内の店舗の合計17店舗
- (3) 趣旨
メニュー提供とあわせて、ムラサキウニによる海藻の食害など、本県の海の課題についてメッセージを発信し、県民の海への関心を高める。
- (4) 実施主体
主催：鳥取ブルーカーボンプロジェクト「豊かな海の再生を目指して」実行委員会
（鳥取県漁協、県、農林中央金庫等）
共催：日本財団「海と日本プロジェクト」
※ 日本財団「海と日本プロジェクト」の助成事業を活用

「うの花ウニ」メニューの要件

- ①メニュー名は「うの花ウニの○○」とする。
- ②ムラサキウニは、海藻を食い荒らしているが、身は痩せている。
それを採取し、地域で育てたものを使用する。
- ③ウニはまだ希少なため、うの花（おから）でボリュームアップさせ、アカモクで食感を良くした「うの花ウニ」にする。
- ④ウニ転生！「うの花ウニ」を使い、形は丸型に統一し、ウニを転生させる。
- ⑤おいしく食べて藻場再生！食べた人が笑顔になるメニューにする。

3 新メニュー開発の経過

- R4. 6 6名の料理人によるムラサキウニを用いた料理の試食。
- R4. 10 県内協力店でのフェアに用いるウニ料理のベース素材の試食及び検討。
- R5. 1 ウニ料理のベース食材を鳥取生まれの新素材として「うの花ウニ」と命名。
 - ・「うの花ウニ」のレシピ監修はメニュー開発検討に協力いただいた梅乃井の宮崎博士店主。
 - ・「うの花ウニ」の製造は、おから利用のプロジェクト（豆乳おからの資源循環プロジェクト）に参加している株式会社サンレイフーズ（米子市）の関連会社である株式会社マルテSF（鳥取市）に協力いただいた。
- 令和5年度以降、総合学習での環境教育や学校給食での提供も検討していく。

4 その他

フェア初日（2月27日）に合わせて、泊小学校の「海の環境学習」の一環として「うの花ウニ」の試食体験も予定している。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和5年2月22日
農地・水保全課

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
農地・水保全課 (東部農林事務所)	七谷地区地域ため池(七谷池)改修工事(1工区) (国補正)	鳥取市 久末	株式会社 大晃工業 代表取締役 高田 重利	(当初契約額) 76,010,000円	令和4年3月28日 ～ 令和4年11月22日	(当初契約年月日) 令和4年3月28日	【工事内容】 ため池改修工事 堤体工 掘削工 V=19,500m ³ 盛土工 V=2,930m ³ 泥土他工事運搬 V=2,260m ³ 取水施設工 L=63.8m 仮設工 水替工 1式 ○変更内容 ・ICT活用による工事実施及び週休2日モデル達成(4週8休以上)に伴う工事費の増。 ・取水施設基礎地盤の地耐力不足が判明したため、地盤改良に係る検討及び施工に期間を要したことによる工期の延伸。	
				(第1回変更後契約額) 98,320,200円 変更額 22,310,200円	(変更後工期) 令和4年3月28日 ～ 令和5年2月15日	(第1回変更契約年月日) 令和4年9月9日		
				(第2回変更後契約額) 111,602,700円 変更額 13,282,500円	(変更後工期) 令和4年3月28日 ～ 令和5年3月15日	(第2回変更契約年月日) 令和5年2月10日		